

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	91-2 文化振興一般経費(市民管弦楽団運営補助事業)	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	目	07	文化振興費
		細目	128	文化振興経費
		細々目	01	文化振興一般経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード 11300	担当者氏名	西村 澄子	連絡先 22 - 9621 (内線) 2115
	名称	企画総務部企画課		

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民管弦楽団	※対象件数
成果(どうする)	音楽を実践する場等、音楽に親しむ機会が増え、音楽文化の振興が図れる。	
根拠法令・要綱等	企画総務部関係補助金等交付要綱(市民管弦楽団運営補助金)	
開始年度	平成 15 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業内容	市民の音楽文化の振興を目的に、市民管弦楽団の育成を図るため、伊賀コミュニティオーケストラにその窓口となって活動運営を行っている。 (助成団体実績) * 演奏会活動(年3回) * 年間を通じて、月2~4回の練習の実施 * 弦楽器・トランペット・オーボエ・ファゴットの団員募集を実施、団員の充実を図った。 * 団所有の楽譜が増えたため、持ち運び用楽譜ケースを購入。老朽化による楽器の部品交換を行った。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
演奏会開催回数	回	回	目標 2	目標 2	3	3
			実績 3	実績 3		
練習回数	回	回	目標 35	目標 35	35	35
			実績 30	実績 30		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
演奏会入場者数	人	より多くの人が関心を持つことにより音楽文化が向上する	人	目標 700	目標 650	650	650
				実績 607	実績 557		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	180	60	300	300	
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	180	60	300	300
	一般財源	0	0	0	0
	事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	フルコスト(A)+(B)	900	780	1,020	1,020

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
	演奏会を行うことにより、オーケストラ演奏について関心を持ってもらえる。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	市民管弦楽団へ平成24年度以降の購入計画を検討してもらう。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	基金残高を考慮しつつ、楽器・楽譜等の購入計画を立てた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤山 善之
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	市民管弦楽団への寄附金により助成されている事業であり、基金残高により年次的に備品を購入し、事業を推進する。
現時点における課題、その他	寄附金の残高が約1,860千円となっている。楽器・備品購入は内容を検討し計画的に実施する。
課題、その他に対する改善策	市民管弦楽団へ平成25年度以降の購入計画を検討してもらう。
(いつまでに、何を、どうする)	